

季節の遊び

対象児：年長児 かえで組

作成日；2022/10/25

作成者：山川大地

☆**保育のねらい**：季節の行事に興味を持ち、みんなで楽しみながら秋の訪れを感じる。



☆振り返り

風が涼しかった夏から、風が吹くと「寒い」と感じるようになった今日。自然の移り変わりを体や、園庭に生えている草木の色や様子を見て感じたり、長袖やジャケットを着て登園したりと秋の身支度をする子ども達の様子が見られるようになってきました。そのような中、年長児は、季節の行事「お月見お茶会」を楽しみました。祖父母の方と作ったお月見ガーランドを展示したりお団子作りやサツマイモ・栗といった秋の作物を使ったお供え物を用意したり、お家の近くで見つけたススキの葉も持って来てくれたりと自分で考えて必要に感じたものを準備し合う子ども達の様子が見られました。月を眺め、秋の訪れを感じながら飲んだお抹茶の味は、少し苦かったようでした。今回の行事を通して、由来を知り子ども達が必要なものを考えたり気づいたり自分で準備したりと、子ども達なりに興味や関心を持って楽しむ姿、自信を持って参加する姿がすごく印象的でした。今回の活動では、行事について知るだけでなく、自然や気候、空の変化に目を向けながら遊びに取り入れる楽しさを体験することができた活動となりました。

(自立心、協同性、思考力の芽生え、自然との関わり、豊かな感性)